

聖マリアヘルスケアセンターを過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリアヘルスケアセンターでは、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、該当委員会にて許可されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、ご自分の診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合、また、研究について詳細にお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。

① 研究課題名	回復期リハビリテーション病棟における軽度脳梗塞患者の脳萎縮と認知機能との関連			
② 実施予定期間	承認日～2017年11月			
③ 対象患者	聖マリア病院より聖マリアヘルスケアセンター回復期リハビリテーション病棟に転院された初発脳梗塞症例			
④ 対象期間	2014年10月～2016年10月			
⑤ 研究機関の名称	聖マリアヘルスケアセンター			
⑥ 対象診療科	リハビリテーション科			
⑦ 研究責任者	氏名	吉浦和宏	所属	リハビリテーション室
⑧ 使用する資料等	診療情報より下記事項を調査します。 年齢、性別、脳梗塞のタイプ分類（アテローム・心原性・ラクナ・分類不能）、病変側、病変部位、病巣領域、mRS、NIHSS、急性期在院日数、回復期在院日数、聖マリアヘルスケアセンター転院までの期間、Br.stage、MMSE、BBS、FIM（FIM効率）、Trail Making Test、リバーミード行動記憶検査、簡易上肢機能検査（STEF）、コース立方体テスト。CTよりEvans Indexの測定。MRIにてシルビウス裂・脳低層の拡大と高位円蓋部・正中部の脳溝狭小化の判定。callosal angle(脳梁角)の測定。			
⑨ 研究の概要	回復期リハビリテーション病棟において患者の予後予測を行うことは重要である。大脳白質病変と認知・注意機能との関連を明らかにすることで、患者の予後予測の精度を高め、リハビリテーションにおける目標設定ならびにリハビリテーションプログラム設定の一助となることを研究目的としたい。回復期リハビリテーション病棟における軽度脳梗塞症例の脳萎縮の程度と認知機能との関係性を明らかにすることで、患者の予後予測の精度を高め、リハビリテーションにおける目標設定、アウトカム評価の一指標としての有効性について検討することにある。			
⑩ 倫理審査	研究倫理審査委員会承認日	2017年4月21日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	研究結果については学会等において登録・発表予定です			
⑬ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際も、個人を特定できる情報は使用せず、特有の番号で管理します。学会で発表する場合も個人を特定できる情報は使用しません。			
⑭ 知的財産権	聖マリアヘルスケアセンターに属します			
⑮ 研究の資金源	特にありません			
⑯ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリアヘルスケアセンターリハビリテーション室 吉浦和宏			
	電話	0942-35-5522	FAX	0942-34-3216